

校長室から
(H31年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 5
平成31年4月19日(金)発行

「真心(まごころ)」の力 前号の続きです。

<誰の心にもある「温かい気持ち」>

中国の古典『孟子』に、次のような話があります。

～ 人には皆、他人の不幸を見ていられない心がある。たとえば幼児が井戸に落ちそうになっているのを目にしたら、誰もがはっと驚いて、助けようとする気持ちが自然とわき起こるはずだ。それは子供を助けることで、その父母とお近づきになりたいと思うからではなく、周囲の人たちに賞賛されたいからでもなく、助けないことで悪評が立つのを恐れるからでもない。つまり、この心は、誰もが生まれながらに持っているものである～

『孟子』ではこれを「惻隠(そくいん)の心」という言葉で表現し、「惻隠の心は仁(じん)の端(たん)なり」と述べています。仁とは多を慈しむ、深い思いやりの心です。そんな仁の糸口となる温かい「まごころ」の芽は、誰の心の中にもあるということです。

人の悲しみに接したら、胸が締め付けられるような思いがして、なんとかなぐさめたいという気持ちがわいてくる。困っている人に出会ったら、何か自分にできることはないかと考える。私たち一人ひとりにも、そんな経験があるのではないのでしょうか。そんな温かい思いや優しい気持ちこそが「まごころ」の芽なのです。

<「まごころ」の芽を育てよう>

私たちは日々、心の中に芽生える温かい思いや優しい気持ちを、身近な暮らしの中で、どれだけ活かすことができているのでしょうか。今、静かに自分自身の生活を振り返ってみましょう。そこには必ず誰かの「まごころ」が存在するはず。自分を生み育ててくれた親祖先や、お世話になった先生や先輩、親しい友人や近所の人たちなど。また、一度だけ会った人から受けた「小さな親切」まで数え上げれば、きりがありません。そうしたことに気づいたら、感謝と共に心の中に芽生える温かい思いや優しい気持ちを大きく育て、自分自身も積極的に行動に表すように努めたいものです。

もちろん、お世話になった相手に対して直接的に恩を返すのも、大切なことです。しかし祖先をはじめ、遠い時代の先人たち、また、見知らぬ多くの人たちから受けた「恩」まで考えると、とうてい全てを返しきれものではありません。ですから、自分に注がれた「まごころ」に感謝する気持ちを抱いたなら、新たな人間関係の中で、自分も同じように「まごころ」を生かしていくという

考え方が大切なのではないでしょうか。

誰かの「思いやりのある一言」に触れてありがたく思ったら、自分も周囲の人たちに温かい言葉をかける。誰かの手助けを受けて救われた気持ちになったなら、自分も「困っている人の力になれば」という気持ちで周囲を見渡してみる。そこで生まれたぬくもりは周囲にも波及して、よりよい社会を築く原動力となっていくでしょう。そうしてこそ、私たち自身の安心と喜びに満ちた人生が開かれていくのではないのでしょうか。

4月23日は、「子ども読書の日」

読書は心の食事、たくさん読もう！楽しく読もう！

ユネスコが、「ロミオとジュリエット」や「ハムレット」の著者シェイクスピアと「ドン・キホーテ」の著者でスペインの文豪セルバンテスの命日である4月23日を「世界・本の日」と宣言しています。欧米、特にスペインのカタルーニャ地方では、大切な人に本と赤いバラの花を一緒に贈るサンジョルディという習慣があります。

社団法人読書推進運動協議会が、毎年、4月23日から5月12日までを「こどもの読書週間」と定めて、子どもの読書活動の普及・啓発を図っています。平成13年12月に「子ども読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、4月23日が「子ども読書の日」となりました。この日、友だちと一緒に本を読んだり、大切な人に本を贈ってみませんか？本をいっぱい読んで、心にいっぱい栄養を！！

今年も読書ノート(大阪読書推進会)の申込みをしました。昨年度まで2年連続で当たっています。今年も当たりますように・・・。



みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

ルール13 質問には完全な文章で答えよう

「日本の首都はどこですか？」と聞かれたら、「東京」ではなく「日本の首都は東京です」と答えよう。

●「お元気ですか？」と聞かれたら、「はい」だけでなく、「はい、おかげさまで元気です。あなたはいかがですか？」と答えるのがいい。きちんとした文章で答える練習をすると、考える力がついて、問題に答えたり、作文を書くのにも役に立つ。